

沖布目北遺跡発掘調査 現地説明会を開催します

日 時 令和6年10月13日（日）10時00分～11時00分
※小雨決行・荒天中止

集合場所 沖布目北遺跡発掘調査地 ※別添地図参照

内 容 発掘調査現場の公開と担当者による説明

対 象 一般県民の方（事前の申し込みは必要ありません）

説 明 者 埋蔵文化財調査センター職員

主な調査成果

沖布目北遺跡は、約4,000年前にさかのぼる縄文時代後期の集落跡です。これまでの調査では、多数の掘立柱建物や埋設土器、土器だまりなどの遺構が見つかっています。今回の調査では、新たに竪穴建物やそれに伴う石囲い炉が見つかりました。当時の生活を実感できる遺構といえます。そのほかに、集落を区切る自然流路や土器だまりも検出しており、沖布目北遺跡の縁辺の状況を確認することができました。出土遺物として、縄文時代の土器や石器、土製耳飾りなど当時の生活を物語る遺物が出土しました。

【注意事項】

- ・お車は所定の場所に駐車してください。（下図参照）
- ・会場は足元が悪いので、動きやすい服装・靴等でお越しください。



沖布目北遺跡発掘調査 現地説明会 会場位置図



竪穴建物



竪穴建物内の石囲炉



土器だまり中の土器



縄文土器（約4,000年前）



石器（約4,000年前）